

(単位：円)

農業委員会		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		06	農林水産業費	01	農業費	01	農業委員会費	100～101
政策 2	活力に満ちたまち		事業名		農地銀行活動事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額	執行率		繰越除く執行率
191,000		140,481	0		50,519	73.6 %		—
1 事業目的		管理が難しくなった所有者及び農地を掌握し、新規就農希望者等農地利用希望者の要望に応えることにより、遊休農地の発生を防ぐ。						
2 事業内容		(1) 農業経営状況調査（7月） 農地の状況、農業経営の意向を確認するため、アンケート調査を実施。 ア 対象者 … 1,000㎡以上の農地を保有する世帯 798世帯 イ 回答者 … 552世帯（回答率：69.17%） ウ 意向確認 … 「自ら耕作する」「誰かに貸したい」等、農地所有者（耕作者）への意向確認調査を実施した。 (2) 荒廃農地（遊休農地など）全体調査（9月） 耕作放棄地の再生・利用を推進する観点から、一筆単位での現地調査を実施した。 ア 荒廃農地面積 … 93,458㎡（平成30年 4月1日現在） イ 調査後面積 … 77,648㎡（平成30年11月1日調査完了時） ウ 削減面積 … 15,810㎡ (3) 農地保全活動 啓発活動として次の活動を行った。 ア 農業委員会総会時に、農地保全に関する研修会を実施。 埼玉県農業会議主催の農業委員等対象の研修会に参加。 イ 農家への「農業委員会だより」送付、窓口でのリーフレット配布など、遊休農地解消の啓発活動を行った。 ウ 遊休農地の解消、農地保全推進活動として、耕作されていない農地を借り受け、「コスモス」を播種した。						
3 成果		・農地法3条に基づく農地買取により、低利用耕作地から耕作地へ転換が図られた。（5,488㎡） ・農業経営状況調査で、貸付け等の意向を示した所有者に対し、市と農業委員会が連携し仲介した結果、新たに利用権設定を行うことができ、遊休農地の解消が図られた。（29,902㎡）						

農業委員会